

# 剣道初・二段審査会学科試験問題 (解答を記入して当日持参してください)

令和6年2月18日

段 受審番号

氏名

1. 次の文章は切り返しの目的に関して説明したものです。文中の空欄にあてはまる言葉を下群から選び、言葉で書き入れなさい (20)

切り返しは、正面打ちと( )を組み合わせ、基本動作を総合的に練習するためのものです。切り返しを行う中で正しい姿勢と構え、打つときの刃筋や( )の作用、足さばき、( )のとり方、呼吸法、さらには、体力や気力を養い、( )の打突の修得を目的とする。

間合

連続左右面打ち

気剣体一致

手の内

2. 次の文章は、日本剣道形について書かれたものです。正しい文には( )に○を、間違った文には×を書き入れなさい。 (20)

- ① 日本剣道形を修練することにより、剣道の基礎的な礼儀作法や技術、剣の理合を修得することができる。 ( )
- ② 打太刀(師の位)、仕太刀(弟子の位)の関係を理解し、原則として仕太刀が打太刀より先に動作を起こさない。 ( )
- ③ 足さばきは、すべて「踏み込み足」で行うものとする。 ( )
- ④ 太刀の形一本目の打太刀の構えは諸手左上段である。 ( )

3. 次の文章は「有効打突」に関して説明したものです。文中の空欄にあてはまる言葉を下群から選び、記号で答えなさい (20)

有効打突とは充実した( )、適正な( )、竹刀の打突部で( )を( )正しく打突したものをいう。

ア:刃筋

イ:打突部位

ウ:氣勢

エ:顔面

オ:姿勢

4. 竹刀について、矢印の示す部分の名称を( )に書きなさい。 (20)

( ) ( ) ( ) ( ) ( )



